

令和3年度 学校関係者評価及び改善策

( 中間 最終 )

白岳中学校区 校番 3 学校名 呉市立白岳中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	目標、指標の設定として、生徒自身が成長していくためには、どうあればよいかという観点で設定されているので適切である。 客観的な観点のもとに、数値設定による目標指標設定が適切である。
目標達成のための方策の適切さ	A	生徒の自主性をもとにしたり、学校全体での指導基準を設定したりするなど、方策の工夫が見られたので適切である。 生徒が自分で考え、どうあるべきかを踏まえた方策になっている。 朝読書の徹底は、非常にいい取組だと思う。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	中間評価の達成度の増えている、分析内容としても努力の成果が現れている。 生徒対象アンケートの結果から、クラス、学年別、そして学校全体の傾向等を適切に分析している。
今後の改善策(案)の適切さ	A	課題解決に向けた具体的な取組が、改善策として設定されているから。 目標達成の方策にあるように、学力補充や最近では特に読書等の活字を追うような時間を増やすことで、学習観レベルアップにつながっている。 全ての指標で100%をめざして取り組んでいることだけで改善策になっている。
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で指導が難しい中、目標に向かって努力している。</li> <li>・「豊かな心」に関する取組については、目標を達成できているので、残りの1～2割の生徒への継続した取組期待したい。</li> <li>・「確かな学力」については、主体的に学習に取り組もうとする生徒の姿をしっかりと認め、学校全体へ広げていって欲しい。</li> <li>・業務改善については、改善策に沿った取組に期待したい。</li> <li>・学校でコロナ感染者が発生した時の対処方法やその時の行動規範を徹底していただきたい。また、リモート授業への取組、配布物のペーパーレス化等も進めていっていただきたい。</li> <li>・コロナ禍もあり予想しないことが多々出てきて、先生方は、その都度マニュアルにない対応を迫られるが、教育委員会からの指針に基づいて、白岳中学校独自の対応をお願いします。</li> </ul>

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな心に関する生徒アンケート結果において、肯定的でない答えをした1～2割の生徒へ向けた取組を日々継続して行きたい。</li> <li>・学び方を意識して、学習に取り組んでいる生徒が3割強いるのに合わせて、広島県児童生徒学習意識調査においても同様な質問に低い結果が見られるところから、教師自らが白岳中学校区の特徴である「学び方5」を意識した取組を更に進める必要がある。</li> <li>・水曜日の定時退校日の意識が職員に定着してきたので、他の曜日についても定時とまでは行かないまでも、早く帰る意識改革を継続して進めていく。</li> </ul>
--------------------	---